

お詫びと訂正（2022年 1月14日）

「ものづくり産業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）に対応した人材の確保・育成や働き方に関する調査」

2021年5月21日に記者発表しました表記調査結果において、以下の通り誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

なお、調査結果の本文には訂正が反映されています。

<訂正箇所①>

記者発表資料1ページ

「調査結果のポイント」における記述

同13ページ

「4. デジタル技術を活用している企業が、デジタル技術の活用・導入において先導的な役割を果たすことができる人材に必要だと考えること」における記述及び図表

① 調査結果のポイントの記述内容について

[誤]

デジタル技術の活用・導入において先導的な役割を果たすことができる人材に必要だと考えることを尋ねると（複数回答）、「自社が保有する設備・装置や、担当する工程（開発・設計、製造、品質管理等）での仕事を熟知している」が **62.6%** で最も高い

[正]

デジタル技術の活用・導入において先導的な役割を果たすことができる人材に必要だと考えることを尋ねると（複数回答）、「自社が保有する設備・装置や、担当する工程（開発・設計、製造、品質管理等）での仕事を熟知している」が **66.8%** で最も高い

② 4. 記述内容について

[誤]

デジタル技術を活用している企業が、デジタル技術の活用・導入において先導的な役割を果たすことができる人材に必要だと考えることをみると（複数回答）、「自社が保有する設備・装置や、担当する工程（開発・設計、製造、品質管理等）での仕事を熟知している」が **62.6%** で最も割合が高く、次いで「自社が保有する技術や製品について熟知している」（**54.7%**）、「デジタル技術を自社の事業で活用・応用できる能力（生産性向上、技術革新など）」（**49.6%**）、「会社の経営方針やものづくり方針を理解している」（**45.5%**）、「会社が置

かれた経営環境や事業環境を理解している」（45.4%）、「コミュニケーション能力がある」（43.7%）などの順で高くなっている（**図表 2-6**）。

デジタル技術未活用企業の回答結果と比べると、「自社が保有する設備・装置や、担当する工程（開発・設計、製造、品質管理等）での仕事を熟知している」の割合は、デジタル技術を活用している企業の方が 25.1 ポイント高くなっている。また、「デジタル技術を自社の事業で活用・応用できる能力（生産性向上、技術革新など）」（21.9 ポイント差）や「自社が保有する技術や製品について熟知している」（21.1 ポイント差）などでも、回答割合に大きな差がみられる。

[正]

デジタル技術を活用している企業が、デジタル技術の活用・導入において先導的な役割を果たすことができる人材に必要だと考えることをみると（複数回答）「自社が保有する設備・装置や、担当する工程（開発・設計、製造、品質管理等）での仕事を熟知している」が **66.8%** で最も割合が高く、次いで「自社が保有する技術や製品について熟知している」（**58.2%**）、「デジタル技術を自社の事業で活用・応用できる能力（生産性向上、技術革新など）」（**52.8%**）、「**会社が置かれた経営環境や事業環境を理解している**」（**48.3%**）、「**会社の経営方針やものづくり方針を理解している**」（**48.1%**）、「**コミュニケーション能力がある**」（**46.6%**）などの順で高くなっている（**図表 2-6**）。

デジタル技術未活用企業の回答結果と比べると、「**デジタル技術で収集したデータを分析できる**」（7.2 ポイント差）、「**自身でプログラミング、システム開発ができる**」（6.5 ポイント差）、「**デジタル技術を応用した、他社で開発された製品・サービスを高度に使いこなせる**」（6.2 ポイント差）などで差が大きい。

③ 4. 掲載図表（図表 2-6）について

[誤]

	n	会社の経営方針やものづくり方針を理解している	会社が置かれた経営環境や事業環境を理解している	自社が保有する技術や製品について熟知している	自社が保有する設備・装置や、担当する工程（開発・設計、製造、品質管理等）での仕事を熟知している	自社が保有する製品・サービスを高度に使いこなせる	デジタル技術を活用した、他社で開発された製品・サービスを高度に使いこなせる	自身でプログラミング、システム開発ができる	デジタル技術を用いた、他社の事業で活用・応用できる能力（生産性向上、技術革新など）	デジタル技術で収集したデータを分析できる	経営能力や管理能力がある	新しいことを発想したり積極的に情報収集・学習する姿勢をもち、コミュニケーション能力がある	同僚や部下を指導する能力がある	その他	必要なことは特になし
回答企業計	3,478	37.4	36.9	45.4	51.6	20.5	18.6	39.7	23.7	14.2	33.3	34.9	26.6	0.4	0.9
デジタル技術を活用している企業	1,988	45.5	45.4	54.7	62.6	26.1	24.4	49.6	30.4	17.9	42.3	43.7	33.9	0.5	0.7
デジタル技術未活用企業	1,490	26.1	26.3	33.6	37.5	12.4	10.8	27.7	14.4	9.2	21.5	23.4	16.4	0.3	1.1
【デジタル技術を活用している企業における割合】—【デジタル技術未活用企業における割合】		19.4	19.1	21.1	25.1	13.7	13.6	21.9	16.0	8.7	20.8	20.3	17.5	0.2	-0.4

[正]

	n	会社の経営方針やものづくり方針を理解している	会社が置かれた経営環境や事業環境を理解している	自社が保有する技術や製品について熟知している	自社が保有する設備・装置や、製造工程（開発・設計・生産管理等）での仕事を熟知している	高度に使いこなせる製品・サービスを自社で開発している	デジタル技術を活用した、他社自身でプログラミング、システム開発ができる	デジタル技術を用いた業務の効率化、生産性向上、技術革新など	デジタル技術を用いた業務の効率化、生産性向上、技術革新など	デジタル技術で収集したデータを分析できる	経営能力や管理能力がある	新しいことを発想したり積極的に情報収集・学習する姿勢をもつ	コミュニケーション能力がある	同僚や部下を指導する能力がある	その他	必要なことは特にない
回答企業計	2,821	47.1	46.6	57.2	65.3	26.3	23.7	50.5	30.1	18.2	42.4	44.5	33.9	0.6	0.6	
デジタル技術を活用している企業	1,849	48.1	48.3	58.2	66.8	27.9	25.9	52.8	32.3	19.0	45.0	46.6	36.2	0.5	0.4	
デジタル技術未活用企業	801	44.8	44.7	57.1	64.2	21.7	19.4	48.1	25.1	16.2	37.5	40.8	28.1	0.6	0.9	
【デジタル技術を活用している企業における割合】－【デジタル技術未活用企業における割合】		3.3	3.6	1.1	2.6	6.2	6.5	4.7	7.2	2.8	7.5	5.8	8.1	-0.1	-0.5	

注) 本設問は、デジタル技術の活用に向けたものづくり人材の確保について「デジタル技術を活用しないので確保する必要はない」と答えた企業以外の企業が回答。

<訂正箇所②>

記者発表資料 9 ページ～15 ページ

「《2》 デジタル技術を活用している企業におけるDXに対応した人材育成・能力開発等の状況」における 1. ～6. の図表（図表 2-6 以外）

① 1. ～6. 掲載図表（図表 2-6 以外）について

[誤]

- ・ 図表 2-1～2-2、2-4、2-7～2-9 の表側「回答企業計」における n の値：3,478
- ・ 図表 2-3 の表側「回答企業計」における n の値：1,112
- ・ 図表 2-5 の表側「回答企業計」における n の値：1,877

[正]

- ・ 図表 2-1～2-2、2-4、2-7～2-9 の表側「回答企業計」における n の値：3,679
- ・ 図表 2-3 の表側「回答企業計」における n の値：1,186
- ・ 図表 2-5 の表側「回答企業計」における n の値：1,984

<訂正箇所③>

記者発表資料 14 ページ、15 ページ

「6. デジタル技術を活用している社員が5年後に鍵と考える技能の見通し」における (1)、(2) の記述及び図表

① 6.（1）記述内容について

【誤】

デジタル技術を活用している企業における、主力製品の製造にあたって、5年後にものの製造に直接携わる技能系正社員にとって鍵となる技能の見通しをみると（複数回答）、「生産工程を改善する知識・技能」が**60.8%**で最も割合が高く、次いで「**多工程を処理する技能**」（**52.8%**）、「**品質管理や検査・試験の知識・技能**」（**52.6%**）、「**設備の保全や改善の知識・技能**」（**49.1%**）などの順で高くなっている（**図表 2-8**）。

デジタル技術未活用企業の回答結果と比べると、「デジタル技術を組み込んだ設備・機器等を利用する知識」の割合で、デジタル技術を活用している企業との差が大きい（**18.0** ポイントの差）。

【正】

デジタル技術を活用している企業における、主力製品の製造にあたって、5年後にものの製造に直接携わる技能系正社員にとって鍵となる技能の見通しをみると（複数回答）、「生産工程を改善する知識・技能」が**63.9%**で最も割合が高く、次いで「**デジタル技術を組み込んだ設備・機器等を利用する知識**」（**61.4%**）、「**多工程を処理する技能**」（**56.8%**）、「**品質管理や検査・試験の知識・技能**」（**52.8%**）などの順で高くなっている（**図表 2-8**）。

デジタル技術未活用企業の回答結果と比べると、「デジタル技術を組み込んだ設備・機器等を利用する知識」の割合で、デジタル技術を活用している企業との差が大きい（**28.6** ポイントの差）。

② 6.（1）掲載図表（図表 2-8）について

【誤】

	n	高度に卓越した熟練技能	多工程を処理する技能	設備の保全や改善の知識・技能	生産工程を改善する知識・技能	組立・調整の技能	自動機の段取り替えをする技能	NC機やMCのプログラミング	品質管理や検査・試験の知識	デジタル技術を利用する組み込んだ設備	その他	特にな
回答企業計	3,478	44.5	49.7	45.7	56.2	37.2	27.6	32.8	48.7	18.0	0.5	3.6
デジタル技術を活用している企業	1,988	46.1	52.8	49.1	60.8	39.9	33.2	37.5	52.6	25.7	0.5	1.7
デジタル技術未活用企業	1,490	41.7	46.4	40.9	50.7	34.0	20.9	27.2	44.2	7.7	0.3	6.3
【デジタル技術を活用している企業における割合】—デジタル技術未活用企業における割合		4.4	6.4	8.2	10.1	5.9	12.3	10.3	8.4	18.0	0.2	-4.6

[正]

	n	高度に卓越した熟練技能	多工程を処理する技能	設備の保全や改善の知識・技能	生産工程を改善する知識・技能	組立・調整の技能	自動機の段取り替えをする技能	NC機やMCのプログラミング	品質管理や検査・試験の知識・技能	デジタル技術を組み込んだ設備・機器等を利用する知識	その他	特になし
回答企業計	3,679	41.2	53.1	47.6	60.1	31.4	26.7	33.1	49.1	48.9	0.6	3.2
デジタル技術を活用している企業	1,988	41.7	56.8	50.3	63.9	32.9	31.6	36.8	52.8	61.4	0.7	1.2
デジタル技術未活用企業	1,490	40.1	49.1	44.2	55.6	29.5	20.6	28.8	45.1	32.8	0.3	6.1
【デジタル技術を活用している企業における割合】—デジタル技術未活用企業における割合		1.6	7.7	6.1	8.3	3.4	11.0	8.0	7.7	28.6	0.4	-4.9

③ 6. (2) 記述内容について

[誤]

デジタル技術を活用している企業における、主力製品の製造にあたって、5年後に研究・開発、生産管理、品質管理などを担当する技術系正社員にとって鍵となる技能の見通しをみると（複数回答）、「**工程管理に関する知識**」が**54.5%**で最も割合が高く、次いで「**生産の最適化のための生産技術**」（49.0%）、「**複数の技術に関する幅広い知識**」（46.9%）、「**設計・開発能力**」（46.7%）などの順で高くなっている（**図表 2-9**）。

デジタル技術未活用企業の回答結果と比べると、「デジタル技術をものづくり現場等へ導入・活用していく能力」の割合は、デジタル技術を活用している企業の方が**14.1**ポイント高くなっており、「プロジェクト管理能力」の割合でも**13.0**ポイント高くなっている。

[正]

デジタル技術を活用している企業における、主力製品の製造にあたって、5年後に研究・開発、生産管理、品質管理などを担当する技術系正社員にとって鍵となる技能の見通しをみると（複数回答）、「**デジタル技術をものづくり現場等へ導入・活用していく能力**」が**54.9%**で最も割合が高く、次いで「**複数の技術に関する幅広い知識**」（54.5%）、「**生産の最適化のための生産技術**」（51.2%）などの順で高くなっている（**図表 2-9**）。

デジタル技術未活用企業の回答結果と比べると、「デジタル技術をものづくり現場等へ導入・活用していく能力」の割合は、デジタル技術を活用している企業の方が**24.3**ポイント高くなっており、「プロジェクト管理能力」の割合でも**14.0**ポイント高くなっている。

④ 6.（2）掲載図表（図表 2-9）について

【誤】

	n	特定の技術に関する高度な専門知識	複数の技術に関する幅広い知識	設計・開発能力	製品の企画・構想段階から問題点を把握し、改善提案を行うコンサルティング能力	革新的技術を創造していく能力	プロジェクト管理能力	生産の最適化のための生産技術	工程管理に関する知識	生産設備の保守・管理技術	デジタル技術を用いていく現場等へ導入・活用していく能力	その他	特になし
回答企業計	3,478	42.0	43.8	41.9	20.1	14.2	23.9	43.7	49.7	35.7	15.7	0.4	5.7
デジタル技術を活用している企業	1,988	45.7	46.9	46.7	23.3	17.6	29.6	49.0	54.5	39.1	21.8	0.5	2.4
デジタル技術未活用企業	1,490	37.3	40.3	36.5	16.3	9.9	16.6	37.4	43.8	31.0	7.7	0.1	10.3
【デジタル技術を活用している企業における割合】—デジタル技術未活用企業における割合		8.4	6.6	10.2	7.0	7.7	13.0	11.6	10.7	8.1	14.1	0.4	-7.9

【正】

	n	特定の技術に関する高度な専門知識	複数の技術に関する幅広い知識	設計・開発能力	製品の企画・構想段階から問題点を把握し、改善提案を行うコンサルティング能力	革新的技術を創造していく能力	プロジェクト管理能力	生産の最適化のための生産技術	工程管理に関する知識	生産設備の保守・管理技術	デジタル技術を用いていく現場等へ導入・活用していく能力	その他	特になし
回答企業計	3,679	40.4	49.6	43.1	30.4	29.8	32.1	47.0	45.0	34.9	44.0	0.4	4.6
デジタル技術を活用している企業	1,988	43.1	54.5	46.8	35.7	36.0	38.4	51.2	47.1	37.8	54.9	0.6	1.7
デジタル技術未活用企業	1,490	36.8	43.8	38.5	23.8	22.3	24.4	41.7	42.9	31.2	30.6	0.2	8.7
【デジタル技術を活用している企業における割合】—デジタル技術未活用企業における割合		6.3	10.7	8.3	11.9	13.7	14.0	9.5	4.2	6.6	24.3	0.4	-7.0